

第49回滋賀県消防操法訓練大会

問い合わせ
危機管理課
☎65-0665 / ☎63-4619

第49回滋賀県消防操法訓練大会が8月3日、滋賀県消防学校で開催され、甲賀市消防団から土山・甲賀・甲南の3方面隊が出場しました。

厳しい訓練と結束力で鍛え上げた素晴らしい操法が披露され、ポンプ車の部では、甲賀方面隊第4分団が優勝、土山方面隊第2分団が3位入賞、小型ポンプの部では、甲南方面隊第1分団が優勝し、全出場隊が入賞の栄光に輝きました。

選手の方をはじめ、サポートの団員・ご家族・職場の方など関係者の皆さんには、長期間にわたり訓練へのご参加、ご支援、誠にありがとうございました。

小型ポンプの部で優勝された甲南方面隊は、11月8日に東京で開催される全国消防操法大会に出場されます。全国の舞台でのご活躍が期待されます。

ポンプ車の部・小型ポンプの部 ダブル優勝の快挙

【ポンプ車の部・優勝と第3位入賞】 【小型ポンプの部・優勝】

出場された選手の方々は次のとおりです。(敬称略)

○ポンプ車の部

- 甲賀方面隊 (優勝)
- 指揮者 松崎 和彦
 - 1番員 鈴木 吉宣
 - 2番員 吉田 智之
 - 3番員 大木 真也
 - 4番員 村木 俊昭
 - 要員 藤田 重行

○小型ポンプの部

- 甲南方面隊 (優勝)
- 指揮者 河尻 俊一
 - 1番員 宇野 孝志
 - 2番員 中嶋 鉄也
 - 3番員 平井 博善
 - 要員 増田 敦史
 - 坂上 世志樹

- 土山方面隊 (3位入賞)
- 指揮者 橋本 忠俊
 - 1番員 仲野 崇宏
 - 2番員 土山 隼人
 - 3番員 澤田 英治
 - 4番員 太田 正史
 - 要員 野尻 宏徳
 - 大森 康弘



「あなた」も救命の当事者に 9月9日は 救急の日

救命の現場では、救急隊や医師による処置の前に適切な応急手当が行われるかどうかで生死を分けるケースが少なくありません。その場にいる誰もが救命の当事者になる可能性があるのです。

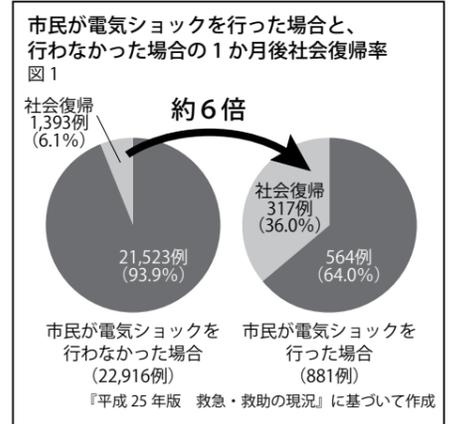
「あなた」の心肺蘇生法が命を救う

事故や突然の出来事で人の心臓や呼吸が停止してしまった場合、そばに居合わせた「あなた」が、早く適切な心肺蘇生法を行うことにより、命の救われる確率が高くなります。

AEDによる除細動が効果を発揮

突然の心停止は、心臓が小刻みに震える心室細動によって生じることが多く、この場合には、できるだけ早く心臓に電気ショックを与え、細動を取り除くことが大切です。この電気ショックを行うための機器をAED(自動体外式除細動器)と言います。心臓の状態を自動的に解析し、音声で操作案内を行う機能を備えていますので、だれでも簡単・確実に扱うことができます。

救急隊が到着するまでに、一般市民が電気ショックを実施した場合の社会復帰率は、実施されなかった場合の約6倍であるとの統計結果が示す通り、AEDによる一刻も早い除細動が救命に効果を発揮します。(図1)



事前に AED 設置場所の確認を

市では、主要な公共施設や学校、保育園、幼稚園などにAEDを配備しています。また、大型ショッピングセンターなどにも設置されていますので、事前に設置場所を確認しておく、緊急時に役立ちます。

心肺蘇生法とAEDの講習会を実施

甲賀広域行政組合の各消防署・分署では、AEDを使用した心肺蘇生法の講習会(普通救命講習)を行っています。「いざという時」に人の命を救えるよう、正しい知識と技術を身につけましょう。

講習についての詳細は、最寄りの各署にお問い合わせ下さい。

甲賀広域行政組合消防本部 警防課	☎ 63-7934	☎ 62-3666
水口消防署	☎ 63-1119	☎ 63-7941
水口消防署土山分署	☎ 67-1199	☎ 67-1700
甲南消防署	☎ 86-3119	☎ 86-0719
甲南消防署甲賀分署	☎ 88-7701	☎ 88-7702
信楽消防署	☎ 82-0119	☎ 82-3977

救急車の適正利用を

急性心筋梗塞や脳卒中など、重大な病気やけがの時には、ためらわずに救急車を呼んでください。

一方で、症状に緊急性がなくても「どこの病院に行けばよいかわからない」「救急車でいくと、すぐに診察してもらえる」などの理由で救急車が呼ばれる件数が増加しています。救急車を本当に必要とする人が適正に利用できるよう、不必要な救急要請は行わないでください。



▲消防署での普通救命講習の風景



救急車一口メモ

救急出動の件数

年間	3,618件
1日当たり平均	9.9件
搬送人数合計	3,438人
平成25年甲賀消防管内(甲賀市合計)	

救急車の到着までにかかる時間

全国平均	約8分
甲賀消防管内平均	約8分